

2017年5月16日

鹿児島県知事  
三反園 訓 殿

## 県原子力専門委員会の健全化と信頼回復のための申し入れ

とめよう原発！かごしまの会  
代 表 平良 行雄

貴職の日ごろのご奮闘に敬意を表します。

さて、昨年7月の鹿児島県知事選挙において、貴職が公約としていた県原子力専門委員会（以下、専門委）が、昨年12月に設置されました。しかしながら、私たち「とめよう原発！かごしまの会」は、県知事選告示直前の昨年6月15日に行った貴職との候補者一本化のための協議、およびその際に締結した『政策合意』にもとづいて、この専門委設置は明らかな公約違反であると考えています。その理由は、貴職との一本化協議の際に確認した、①委員については、賛成（推進）派、反対（慎重）派の双方から人選を行いバランスを取ること、②人選にあたっては、われわれ（とめよう原発！かごしまの会）の意見も踏まえて決定すること、③今回設置する専門委は、川内原発の廃炉を目的とすること、との約束を反故にされた形での設置だからです。私たちは、貴職との確認にもとづき、専門委に相応しいと思われる専門家の方々を早くから推薦していましたが、貴職は誰一人として任命しませんでした。さらに、この件を含めて貴職に何度も面会を求めるが、現在に至るまで一度も会っていただいていません。

「県民に開かれた県政をめざす」とする貴職が、このような対応に終始すること自体を、私たちは到底納得することはできません。

こうしたなか、専門委座長である宮町宏樹氏が、今年度から3年間の計画で、専門委と利害関係のある九州電力から2億5千万円もの研究を受託していたことが、5月3日付の南日本新聞によって明らかとなりました（そのうち1億5千万円は、今年度分として既に計上）。宮町氏は、専門委の委員に任命される以前から、九州電力や九電の子会社から研究費や寄付を受け取っていたことが問題となった人物です。こうしたことから、宮町氏の委員任命を多くの県民が疑問視しました。しかし、貴職は、独断で宮町氏を委員に任命し、座長にまで推挙しました。こうした経過の中で発生した今回の問題について、私たちは県民に対する背信行為と捉えており、決して看過することはできません。さらに、専門委の信頼性を失うものであり、県民にとってその損失は計り知れません。

つきましては、貴職に対し下記の内容について申し入れますので、早急にご対応くださいますよう、お願い致します。

### 記

1. 今回の問題を県として重く受け止め、宮町宏樹委員を即刻解任すること。
2. 専門委の委員選出基準について明らかにするとともに、再発防止策を早急に講じること。
3. 専門委の委員について、われわれの会との確認にもとづいた委員選出を改めて行うこと。
4. これまで幾度となく要請してきた貴職との面談を早急に行なっていただくこと。

以上